

番号	1-3-1	表題	汚泥処理施設における安定的な電源確保について～ガスエンジン発電機の導入～	
内容	<p>東日本大震災の発生後、計画停電の実施や電力使用制限令が発令され、当局の下水処理施設では、電力需要に対し買電電力が供給不足に陥った。汚泥処理施設においては貯留設備の活用や水再生センター間の送泥調整等を行い、処理量を低下させることで対応した。このような停電や電力不足に対応する汚泥処理施設の自己電源の増強として、南部汚泥処理プラントに都市ガスによるガスエンジン発電設備（7,800kW）を整備する。発電した電力は停電時に使用するほか、電力需給逼迫時における電源確保も実現する。ここでは、ガスエンジン発電設備の概要、機器構成及び他の発電機機関との比較検討等について報告する。</p>			
キーワード	計画停電、ガスエンジン、発電設備、汚泥処理、自己電源			
処理区名	森ヶ崎処理区	位置区分	汚泥	
職種区分	設備	施策区分	危機管理、エネルギー 熱利用	
状態区分	設計	新規性		
実施年度	平成 26 年度	全体期間	平成 26 年度～平成 27 年度	
担当部署	建設部設備設計課 片岡紘亮 甲田裕章 齋藤健士 青柳正俊			
発表履歴	局内			
	局外	平成 27 年度 第 52 回下水道研究発表会		
調査方法				
関連情報				